



豊かな森林と
私たちの暮らしを支える道づくり
(林道の整備)

唐津市農地林務課

1



森林は、

- 水源かん養
- 土砂の流出や崩壊防止
- 地球温暖化防止
- 木材など林産物の生産

など

様々な機能を有しています。

2

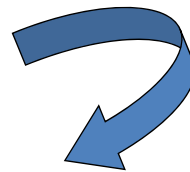
様々な役割を果たしている森林を育成するためには、適正な森林整備が必要です。



3



森林整備(間伐)前の森林



森林整備(間伐)後の森林

森林の整備には、林道の整備が 欠かせません。

森林へのアクセス
時間の短縮



林業用機械運搬
の効率化



木材の生産促進



森林へのアプローチが容易となる
森林施業の効率化が図られる
その他にも、
山村の生活環境を改善する
森林の魅力が身近となる

5

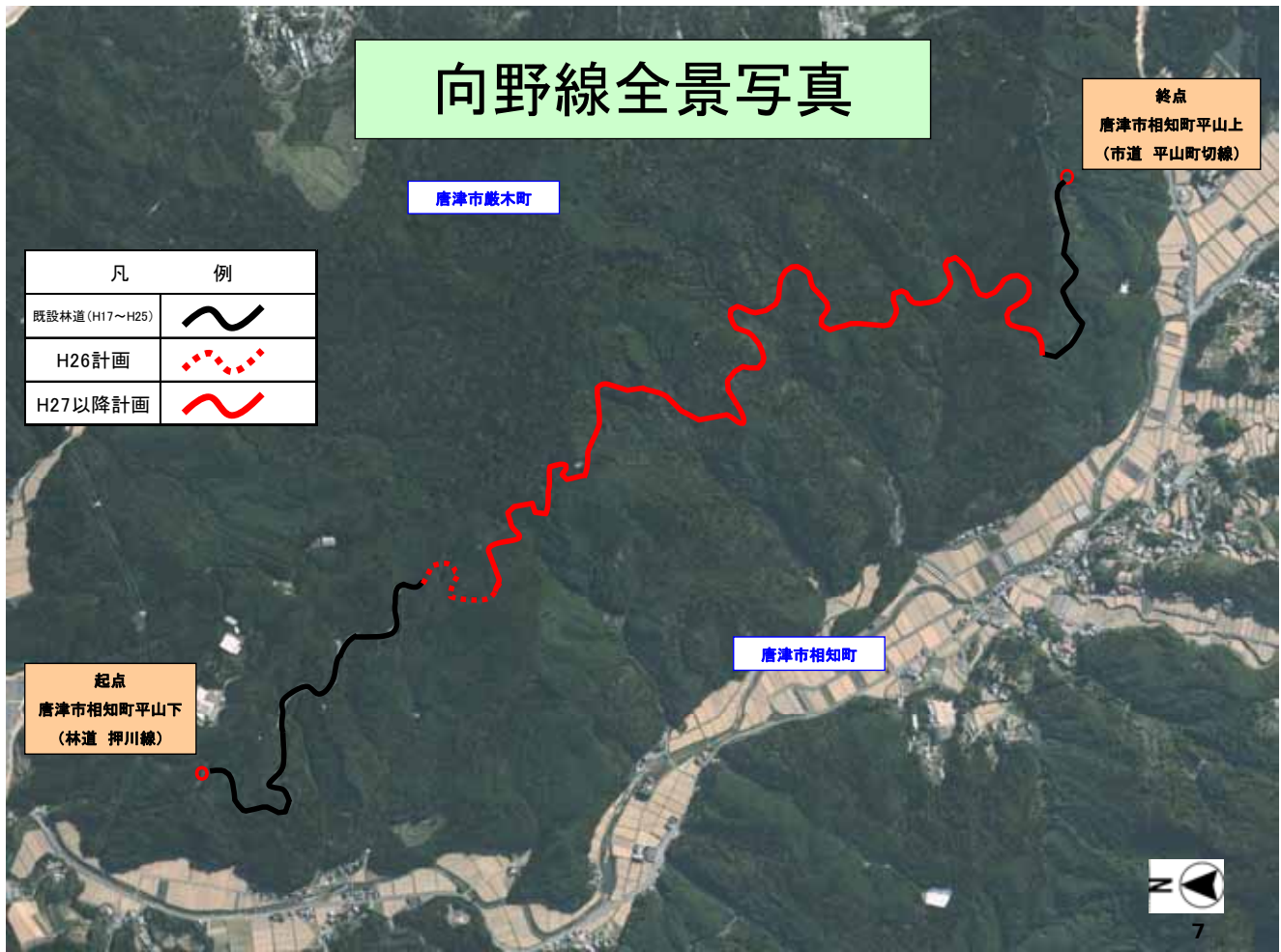
森林基盤整備交付金事業 (道整備交付金) (林道事業) 向野線

全体延長 : L=5,000m
幅員 : W=4.0m
全体事業費 : 8億円
事業期間 : H17 ~ H32

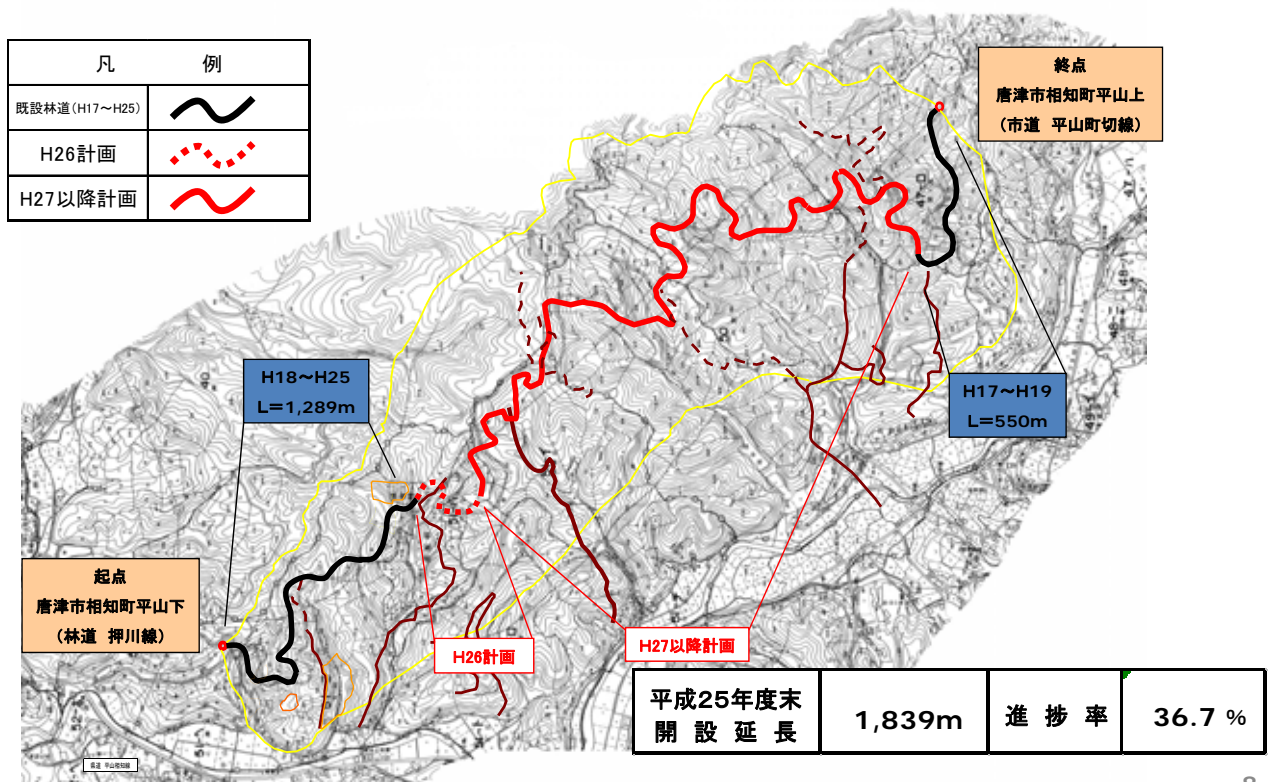
事業主体:唐津市

6

向野線全景写真

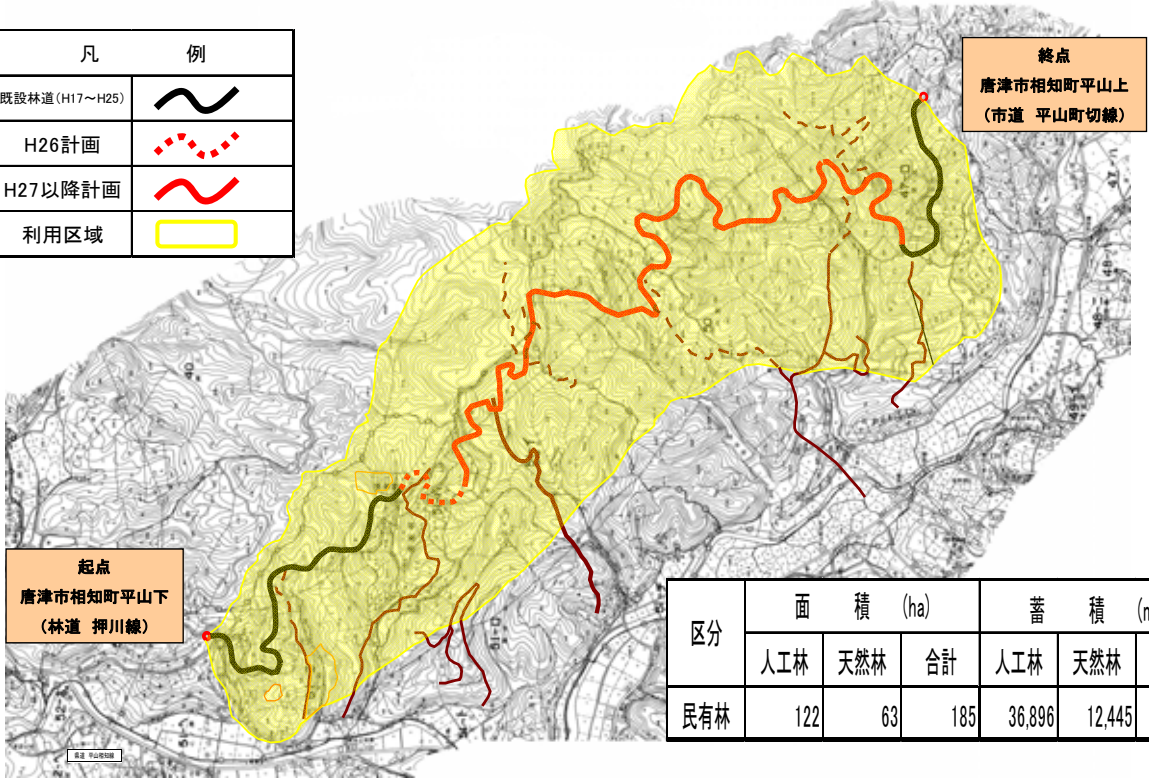


向野線の開設計画及び実績位置図



利用区域内の森林資源

凡	例
既設林道(H17~H25)	
H26計画	
H27以降計画	
利用区域	



向野線周辺の森林資源

樹齢100年を超える杉林



向野線の整備により期待される効果

森林整備の実施状況



林道沿いに建設された治山ダム



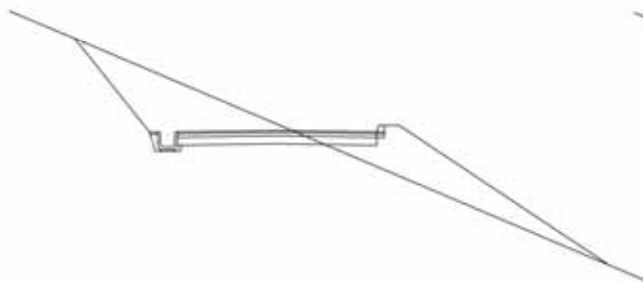
11

コスト縮減対策

L型側溝の採用

U型側溝

L型側溝



コスト縮減額 320万円



12

森林基盤整備交付金事業のB/Cの考え方

【費用対効果 B/C】

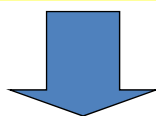
○総便益(B):施設整備によりもたらされる総便益額	915百万円
(内訳)	
・木材生産・森林整備促進便益	87百万円
・水源涵養便益等	670百万円
・災害等軽減便益等	158百万円
○総費用(C):施設整備及び維持管理に要する総費用	502百万円
(内訳)	
・事業費	498百万円
・維持管理費	4百万円
○費用便益比 総便益(B)／総費用(C)	
	=915百万円／502百万円

$$\text{費用便益比(B/C)} = 1.82$$

13

継続の必要性(まとめ)

- ・林道が完成すれば、その効果が最大限に発揮される。
- ・森林整備の促進により森林の重要な役割の発揮が期待される。
- ・山地災害の恐れのある箇所早期発見、治山事業等の防災事業にも役立てられる。



事業を継続し早期完成を図りたい。

14